

令和7年6月10日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をより詳しくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、6月17日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和7年6月19日（木）15:30 ～ 17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・最新の研究『アメリカ考古学協会年次大会において開催した国際シンポジウムに関するご報告』
（話者：松本雄一 准教授）
- ・最新の研究『国際博物館の日記念シンポジウム発表報告—ICOM 組織改革が示すこれからの博物館像』
（話者：邱君妮（ちょうちゅんに） 機関研究員）
- ・最新の研究『カフィル・カラ遺跡の発掘調査と来年3月の特別展の準備状況に関するご報告』
（話者：寺村裕史 准教授）
- ・最新の研究『モノからみた宗教の世界』
（話者：八木百合子 准教授）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOM にて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 6 月 19 日 (木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声が出ないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

令和7年6月19日（木）報道関係者と民博との懇談会
15：30～17：00 於：第一会議室

時間詳細 (予定)		話題	内容	担当（予定）	予定時刻 (分)	備考
15:30		挨拶	ご挨拶	関 雄二 館長	3	定例
15:35		ニュースリリース	3ヶ月行事予定	山中 由里子 広報企画会議長	2	定例
		【 研究 】				
15:40		最新の研究	アメリカ考古学協会年次大会において開催した国際シンポジウムに関するご報告	松本 雄一 准教授	10	
15:55		最新の研究	国際博物館の日記念シンポジウム発表報告—ICOM組織改革が示すこれからの博物館像	邱 君妮（ちょう ちゅんに） 機関研究員	10	
16:10		最新の研究	カフィル・カラ遺跡の発掘調査と来年3月の特別展の準備状況に関するご報告	寺村 裕史 准教授	10	
16:25		最新の研究	モノからみた宗教の世界	八木 百合子 准教授	10	

合計時間 45 分（予定・質疑応答別）

※質疑応答25分想定

◆今後の予定
令和7年7月17日（木）15:30～

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2025 年 6 月 19 日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. 最新の研究紹介

『アメリカ考古学協会年次大会において開催した国際シンポジウムに関するご報告』

4 月に米国デンバーで行われた第 90 回アメリカ考古学協会年次大会において開催した国際シンポジウム「ペルー北部高地の形成期における社会動態：パコパンパ・プロジェクトのアンデス初期複合社会研究への貢献」に関して報告いたします。



— 松本 雄一 (人類文明誌研究部 准教授) —

『国際博物館の日記念シンポジウム発表報告』

—ICOM 組織改革が示すこれからの博物館像—

社会の変化に応じて、博物館にも新たな役割が求められる中、ICOM（国際博物館会議）では組織改革が進められています。5 月 18 日に東京国立博物館で開催された国際博物館の日記念シンポジウムでの発表を基に、ICOM 組織改革の背景と特徴、そして博物館を取り巻く国際動向を概観する意義について報告いたします。

— 邱 君妮 (ちょう ちゅんに) (学術資源研究開発センター 機関研究員) —

『カフィル・カラ遺跡の発掘調査と来年 3 月の特別展の準備状況に関するご報告』

ウズベキスタン共和国のサマルカンド近郊に所在するカフィル・カラ遺跡の近年の発掘調査成果について報告するとともに、来年 3 月にカフィル・カラ遺跡出土資料を借用して展示する予定の特別展「シルクロードの商人（ルビ：あきんど）語り」の準備状況についてご紹介します。

— 寺村 裕史（学術資源研究開発センター 准教授） —

『モノからみた宗教の世界』

（八木百合子編／春風社）

これまで見過ごされがちであった、宗教の領域におけるモノの存在やその役割を積極的に捉え、宗教研究の新たな可能性を探る論文集。変わりゆくモノのあり方やモノと人との関係から、現代の宗教の世界を読み解く一冊です。



— 八木 百合子（グローバル現象研究部 准教授） —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp